

Voice

かかわる人たちの笑顔がやりにくい
私が交通指導員になったきっかけは、長男の交通事故でした。子どもたちへの安全教育がいかに大切かを実感し、そのお手伝いをしたいと思って。

私たちは、毎朝子どもたちの通学路で立哨指導を行っています。小学校では交通安全教室も行っていますし、市や地域のイベントでは、皆さんが安全に楽しめるよう、交通指導を行っています。

交差点に立っていると、特に気になるのは、危険な自転車運転です。そんな中で、高齢者の方は特に注意力が散漫になってしまっている方も多いため、いつ交通事故が発生してもおかしくないという強い危機感を抱いています。この仕事をしていて何より嬉しいのは、子どもたちや市民の皆さんが笑顔で挨拶してくれることです。その笑顔を見ると、皆さんを守ることができていると実感でき、大きなやりがいを感じます。交通安全に対して常に誠実に取り組み、私自身も笑顔で元気に対応することを、いつも心がけています。



Item

自転車ハンドル
自転車に乗れない子どもたちが、笑顔で楽しく交通安全教室を受けられるように、思いを込めて作りました。

 鶴ヶ島市交通指導員連絡会
会長 村本 可江さん

交差点や道路横断時には、「もしかして・止まる・見る・待つ・確かめる」をぜひ心がけてください。

交通事故は、被害者、加害者、それぞれの家族まで、一生忘れることのできない傷を負います。

心に余裕を持って、思いやりのある行動を。

～市民の皆さんへ～
Message

つるがしまを 交通事故から守るひと

交通事故撲滅というと、それはとても無謀なことのように聞こえるかもしれませんが、私たちの暮らすまちには、その実現に向かって、全力で取り組んでいる人たちがいます。たったひとつの大切な命を守るために——その思いを受け取って、他人事ではない「私たちの交通安全」を考えてみませんか？

問合先 安心安全推進課交通安全・防犯担当

交通事故発生状況

6月1日現在、埼玉県内では、49人の方が交通事故により命を落としています。年齢別では、高齢者が最多の25人で、全体の約半数を占めており、状態別では、歩行者が最多の15人で、全体の約3割となっています。

市内においては、今年に入り5月末までの間に、77件の人身事故が発生し、86人の方がケガをしています。事故によりお亡くなりになった方はいません。

市内で発生した人身事故の原因で最も多いのは、ドライバーの脇見などの安全不確認です。また、ケガをした方の年齢別では高齢者が最多の22人で全体の約26%、状態別では、自動車が最多の45人で全体の半数以上を占めており、次いで自転車21人で全体の約24%を占めています。

近年、市内では、自転車事故が多発する傾向にあります。市内から交通事故をなくすためには、「高齢者の事故」と「自転車の事故」を防ぐことが重要です。

交通安全母の会

鶴ヶ島市交通安全母の会
会長 山中 育代さん

「仕事のABC (A…当たり前のことを、B…バカにしないで、C…ちゃんとやる)」
左右の安全確認など、当たり前のことを
みんながきちんと行えば、事故は防げる
はず。交通事故をなくす鍵は、何よりも
一人ひとりの心がけです。

～市民の皆さんへ～
Message

まちの交通安全に繋がると信じて

Voice

自治会選出で参加した母の会ですが、ボランティアにも関わらず皆さんが一生懸命活動されているのを見て、何か少しでもできることがあればと、活動への参加を続けてきました。

母の会は「交通安全は家庭から」をモットーに、特に子どもたちと高齢者を交通事故から守るために活動しています。幼稚園や保育所で実施している交通安全教室、高齢者行事や各世帯を訪問して実施する啓発活動は、母の会が特に大切にしている活動です。

少しでも多くの方にお声がけさせていただきたいと思う一方、各自治会から選出していただいている母の会会員は、年々減少傾向にあります。今年度は全自治会の半数程度に留まり、しっかり活動を継続していけるか大きな不安を感じています。

私たちの声掛けは、小さな活動かもしれませんが、地道に活動を継続することが、交通事故防止に繋がると信じています。これからも、交通安全を担う地域のリーダーとして、心をひとつに、楽しく賑やかに活動していきたいです。

お箸セット

毎年手作りの啓発品を高齢者の皆さんに配っています。皆さんの安全で幸せな毎日を願った贈り物です。



交通安全は心を通わせることから

交通安全協会の行事だけでなく、市が実施する啓発活動などにも、会員一丸となって協力しています。また、地域のお祭りやイベントでは、交通指導も行っています。交通安全運動期間中には、広報車を使った啓発活動を実施し、地域に少しでも交通安全の声が届けられればと思っています。しかし、役員の数を決して多くはなく、高齢化も進んでいます。役員の人手不足が大きな課題です。

交通安全運動期間など活動が立て込む時期は、会員が無事に活動を終わられるか、いつも気にかけています。心をひとつに活動に取り組み、誰も事故やケガがなく活動をやりがれたときが、やはり一番嬉しいですね。

活動する上で大切にしているのは、支部のメンバー同士だけでなく、啓発を通して触れ合う市民の皆さんとも友好的な関係を築くことです。しっかり心を通わせることが、啓発活動の大きな一歩ではないでしょうか。



のぼり旗

日常の中で少しでも交通安全を意識してもらうために、まちの至るところで交通安全をアピールしています。

～市民の皆さんへ～
Message

子どもは大人をよく見えています。大人がきちんと子どもの手本となれるよう、まずは自分が正しい交通ルールを身に付けましょう。高齢者の事故が多いのも、とても気になります。自分の身をしっかりと守ってください。

西人間交通安全協会

西人間交通安全協会鶴ヶ島支部
支部長 柳川 文男さん



4



2



1



5



3

信号や標識を守ること、安全確認をきちんとすることなど、交通安全のポイントを決して難しいものではないにもかかわらず、今日も至るところで交通事故が発生しています。

交通事故が、自然になくなることはありません。一人ひとりの心がけがなければ決して事故はなくなるということ、言い換えれば、一人ひとりが心がければ、事故はなくなるのだということを、一人でも多くの方に気付いてもらうため、交通関係団体の皆さんは日々活動しています。

交通安全が関係ない人はいません。しかし、日常生活の中では、交通事故はどこか自分とは関係のないところで起こっているもののように感じてしまいがちです。「自分は事故になどあわないし、事故を起こすこともない」という過信が、いつか重大な事故を引き起こす引き金になるということを、私たちは忘れてはいけません。

互いに思いやる心を忘れず、一人ひとりが交通ルールを守る。少しの心がけで防げる事故、救える命がたくさんあります。このまちでいつまでも安全に暮らせるよう、今このときから、私たちみんなで交通安全を始めましょう。

西入間警察署からのメッセージ

皆様には平素から、交通事故抑止に対し、ご協力いただいていることに感謝を申し上げます。本年は、新型コロナウイルス感染症予防から外出を控える方も多く、県内の交通事故は減少していますが、鶴ヶ島市内においては、4月末現在で、昨年と同数の人身事故が発生しております。特に、交差点での事故、安全確認の不足などによる事故が多くなっています。

西入間警察署としても、市や各交通関係団体の協力のもと、交通取締の強化、道路交通環境の改善、啓発活動などを推進しておりますが、交通事故抑止には市民の皆様のご協力が不可欠です。ぜひ、安心して暮らすことのできるまちづくりのためにも、引き続きご協力をお願いいたします。

交通課長 佐々木 知則





交通指導員を募集します！

市では、交通事故防止を目的に、交通指導員を採用しています。主な仕事は、小中学生登校時の立哨指導、各小学校における交通安全教室や交通安全啓発活動など、日々様々な活動に取り組んでいます。

子どもたちの安全確保は、交通指導員の活動があってこそのものであります。子どもたちが毎日元気に登校できるよう、交通指導員として活動を始めてみませんか？

対象 交通安全に熱意のある方

採用予定日 9月1日

任期 9月1日から令和3年3月31日まで(再任可)

週の勤務日数(時間) 週5日(1～4時間程度)

募集人数 3人

報酬 時給2201円

試験方法 面接試験(7月29日(水) 予定、時間は応募者に追って連絡)

申込 7月1日(水)から17日(金)までに所定の登録申込書に必要事項を記入の上、志望理由書(400字原稿用紙1枚程度)を添えて、安心安全推進課交通安全・防犯担当までご提出ください。

※ 受付は、土・日曜日、祝日を除きます

※ 登録申込書は、安心安全推進課窓口、各市民センターおよび若葉駅前出張所にて配布します。また、市ホームページからもダウンロードできます



HPIはこちら



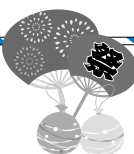
止まれ



◆活動紹介◆

1 2 小学校入学を控えた子どもたちに、信号の意味や横断歩道の正しい渡り方を教えます。(母の会) **3** 集中して話を聞いている小学生。自転車のお勉強です。(指導員)

4 5 警察と一緒に一軒一軒訪問し、交通安全の心がけを伝えます。夜間の交通安全には必須のお守り、反射材をプレゼント。(指導員・母の会) **6** 啓発活動は笑顔で。この地道な声掛けが大切です。(西入間交通安全協会) **7** 楽しいお友達が啓発活動に参加してくれました！(母の会)



夏の交通事故防止運動を実施します！

交通ルールを守り、正しい交通マナーの実践を習慣付けることで、夏の解放感から起こる交通事故を防止するため、夏の交通事故防止運動を実施します。

急な飛び出しや無理な道路横断、道路の斜め横断は、大きな交通事故に繋がる危険な行為です。道路を渡るときは、車が来ないこと、また、車が確実に止まったことをしっかり確認してから、横断歩道を渡りましょう。夕方や夜間になると、ドライバーから歩行者が見えにくくなり、重大事故が発生しやすくなります。夕方以降に外を歩く際は反射材を身に付け、自分の存在をアピールしましょう。

横断歩道は、歩行者優先であり、運転者には横断歩道手前での減速義務や停止義務があります。子どもや高齢者を見かけたら、急な飛び出しなどの危険を予測してスピードを落とすなど、思いやりのある安全運転を心がけてください。

実施期間

7月15日(水)から24日(祝)までの10日間

運動重点

子どもと高齢者の安全な通行の確保



反射材とは？



いろいろな種類があります！

自動車のライトを反射して強い光を放ち、ドライバーに歩行者や自転車の存在を早く知らせることのできるアイテムです。